

# Liver Science Forum in Ehime

日時：2022年5月16日(月) 19:00～20:30

WEB開催：Zoomウェビナーシステムにて配信

座長：日浅 陽一 先生

(愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学 教授)

## 「C型肝炎と肝臓」

一般講演：平岡 淳 先生

(愛媛県立中央病院 消化器内科 主任部長)

## 「With コロナ時代のB型肝炎治療」

特別講演：四柳 宏 先生

(東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野 教授)

\* ご登録は以下URLまたは右図2次元コードからご入力ください。

[https://gilead.zoom.us/webinar/register/WN\\_oaYA47P9TCCVfN1rVb2CqQ](https://gilead.zoom.us/webinar/register/WN_oaYA47P9TCCVfN1rVb2CqQ)

\* 裏面のメール、FAXからもお申込みできます。



主催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

後援：愛媛大学医学部附属病院 肝疾患診療相談センター  
愛媛県薬剤師会  
愛媛県看護協会



## 愛媛県立中央病院 消化器内科 主任部長 平岡 淳 (ひらおか あつし) 先生

### 【講演要旨】

100%に近いC型肝炎ウイルス駆除が可能となったが、検診することなく感染していることを知らない方や検診結果を知らながら放置している方、DAA治療に対する知識不足から未治療のC型肝炎患者はまだ存在している。

また、ウイルス駆除したことで病院から遠ざかってしまい、残念ながら進行肝臓癌で肝臓癌を発見されることもある。C型肝炎治療と肝臓癌に関係する臨床上的の問題点を実臨床データを元に明らかとしたい。



## 東京大学医科学研究所

## 先端医療研究センター 感染症分野 教授 四柳 宏 (よつやなぎ ひろし) 先生

### 【講演要旨】

日本のB型肝炎の患者さんは海外に比べて高齢化が進んでいます。そうした状況下でB型肝炎の治療を長期にわたり行うこととなりますので合併症も考慮した薬剤選択が大切です。

また、チェックポイント阻害薬、分子標的薬などこれまでとは違った機序で宿主の免疫に影響を及ぼす薬の登場によりHBV再活性化に対しても新たな視点が必要となってきています。

COVID-19の治療で用いられる免疫抑制剤もその中には含まれています。本講演では、こうした点に加え新型コロナウイルス感染症についてもこの2年間を振り返って考えてみたいと思います。



下記FAX番号もしくはE-mailまで御所属、御氏名、アドレスのご連絡をお願い申し上げます

【お申し込み先】ギリアド・サイエンシズ株式会社 岡山四国リージョン 宇野元庸

Email : Motonobu.Uno@gilead.com

TEL : 070-3860-6068

<FAX申込書> 03-4540-3269

【ご施設名】

\_\_\_\_\_

【ご氏名】

\_\_\_\_\_

【mailアドレス】

\_\_\_\_\_

